

はじめてお使いになる前に!

6つのポイント

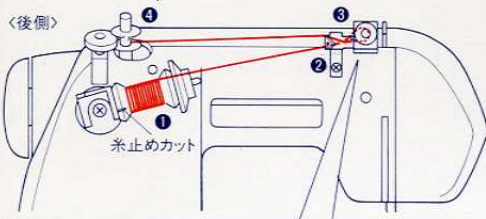
縫う前のチェックポイント、縫うときの注意事項

STEP 1 下糸の巻き方 (押えを上げておいて下さい) (8ページ参照)

①糸立て棒に糸コマ①を図のように入れ、糸コマ押えで押える。糸を②に通し、下糸巻き案内③に図のようにかけてから、糸の先をボビン④の穴に内側から通し、ボビンを下糸巻き巻き軸にはめこみます。



糸の先をボビンの上の穴に内側から通す。ボビンを取り付けましたら、右に強く押して、下糸巻きストッパーの方へ寄せます。



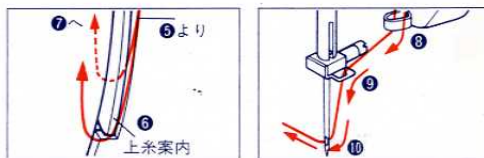
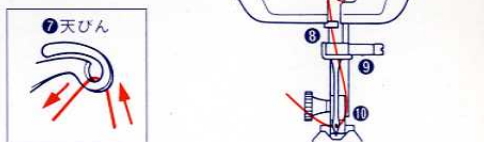
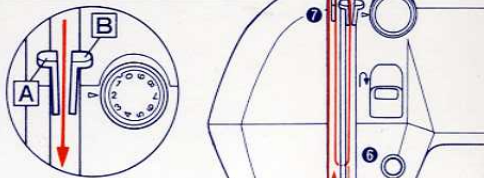
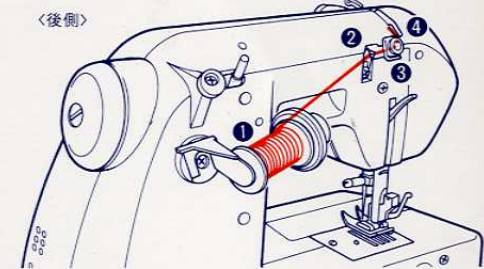
②糸の端を持ち、ボビンを右へ押して電源スイッチを「ON」にして、スピード調節つまみを「Low」〜「Hi」にし、スタート・ストップボタンを押し、ボビンが数回回転しますと、糸を離す。終わったらスタート・ストップボタンを押し、ボビンを左へ戻してはずし、糸を切ってください。

③下糸(ボビン)が平らに巻けないときは、図④下糸案内台止めねじを少しゆるめて案内台上、または下へ動かします。

STEP 2 上糸のかけ方 (押えを上げ、天びんは一番上まであげておきます) (10ページ参照)



★小さい糸コマのときは糸コマ押えを反対につけます。



上糸案内⑥の下からかけ天びん⑦に上図の様に正しくかけ下下さい。

針穴⑩へ手前から向う側に通し押えの下から10cmほど引きだしておきます。

STEP 3 ボビンケースの取り付け方 (9ページ参照)

●ボビンをボビンケースに入れます。



ボビンから糸を10cmほど引きだしておいてボビンをボビンケースの中軸へ入れます。



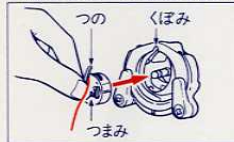
糸のはしをボビンケースの糸通しみにぞに入れます。

★糸を引張ったときボビンは右回ります。

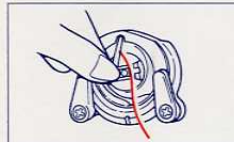


糸を左へひっぱると調子パネの下を通ってボビンケースの糸口へ自然に通ります。

●ボビンケースをカマに入れます。



針を一番上にあげておきます。ボビンケースのつまみをいっぱいにおしてもち、つのがカマのくぼみに入るようにしてさしこみます。

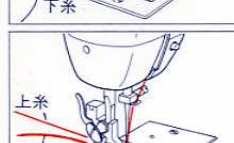


しっかりさしこんだ後つまみをはなして、糸をたらしおきます。

STEP 4 下糸の引き上げ方 (11ページ参照)



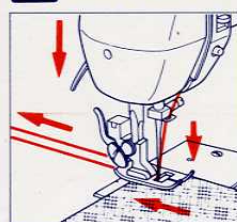
左手で上糸をかるく持ち、はずみ車を手前に一回転させます。上糸を軽く引き上げると、下糸が引き出されます。



上糸と下糸をそろえて押えの下に通し、10cmほど引き出しておきます。

STEP 5 縫い始めの注意 (12ページ参照)

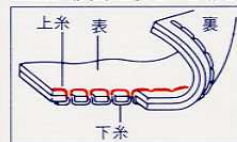
⚠ 針に手を近づけないで下さい。



①はずみ車を手前に回して天びんを一番上にし、押えを上げて布を入れます。
②縫い初めの位置でははずみ車を手前に回して針を刺し、押えを下げます。
③布に軽く手を添えてスタートボタンを押すとスムーズに縫えます。

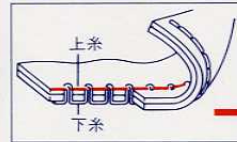
STEP 6 上糸・下糸調子のとり方 (14ページ参照)

■正しく調節されている場合



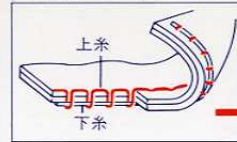
左図のように、上糸と下糸が布の丁度中間で交叉して、かつ、布や糸がつれたり、たるんだりしていないのが正常です。

■上糸が強い場合



上糸調子を弱めます。
(小さい数字の方向へ回す)

■上糸が弱い場合



上糸調子を強めます。
(大きい数字の方向へ回す)



〈下糸の調節は……〉
下糸の調子は、糸がスルスル出たり、強すぎたりしないように調節してください。

ボビンケースの糸調子ねじを①右へ回すと、糸調子は強くなり、②左へ回すと、糸調子は弱くなります。

★普通の場合、ボビンケースに下糸を巻いたボビンを入れ、糸調子ばねの下に通して、糸のはしを持って上下に軽く振ると、少しずつ糸が引き出される位の調子になります。

※この表は(あくまでも)ミシンを使うときのもっとも大切なポイントを抜粋したものです。お使いになる前にもう一度、説明書をじっくりお読みください。